



2008年3月期 中間決算説明会

2007年11月28日

本州化学工業株式会社
(証券コード: 4115)

目 次

.当社の特徴	3
.08年3月期 中間期実績	7
.08年3月期 通期見通し	18

当社の特徴

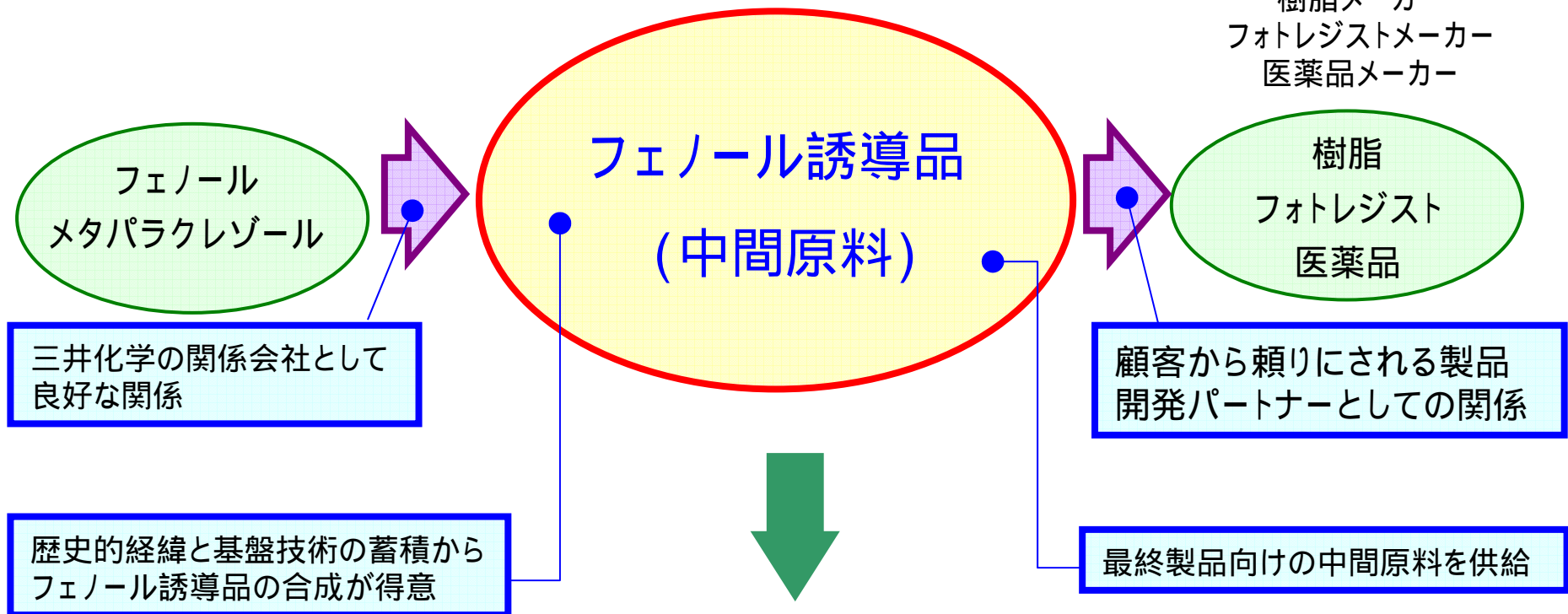
フェノール誘導品に特化

石油化学メーカー

本州化学工業

顧客

樹脂メーカー
フォトレジストメーカー
医薬品メーカー



「コア製品」を見出し、育成、強化・拡大を図っていく

フェノール誘導品開発の歴史

- 1914年11月 会社設立(由良精工合資会社)
- 1915年 2月 合成フェノールの製造開始
- 1961年 3月 ビスフェノールAの製造開始
- 1971年 1月 トリメチルフェノールの製造開始
- 1988年 4月 ビスフェノールA事業を旧・三井石油化学工業(株)に譲渡
- 1990年 6月 フォトレジスト材料の生産開始
- 1991年 3月 ビフェノールの製造開始
- 2004年12月 Hi - Bis社(特殊ビスフェノール)の営業開始

コア製品

次の条件を満たす製品を**コア製品**と位置付け

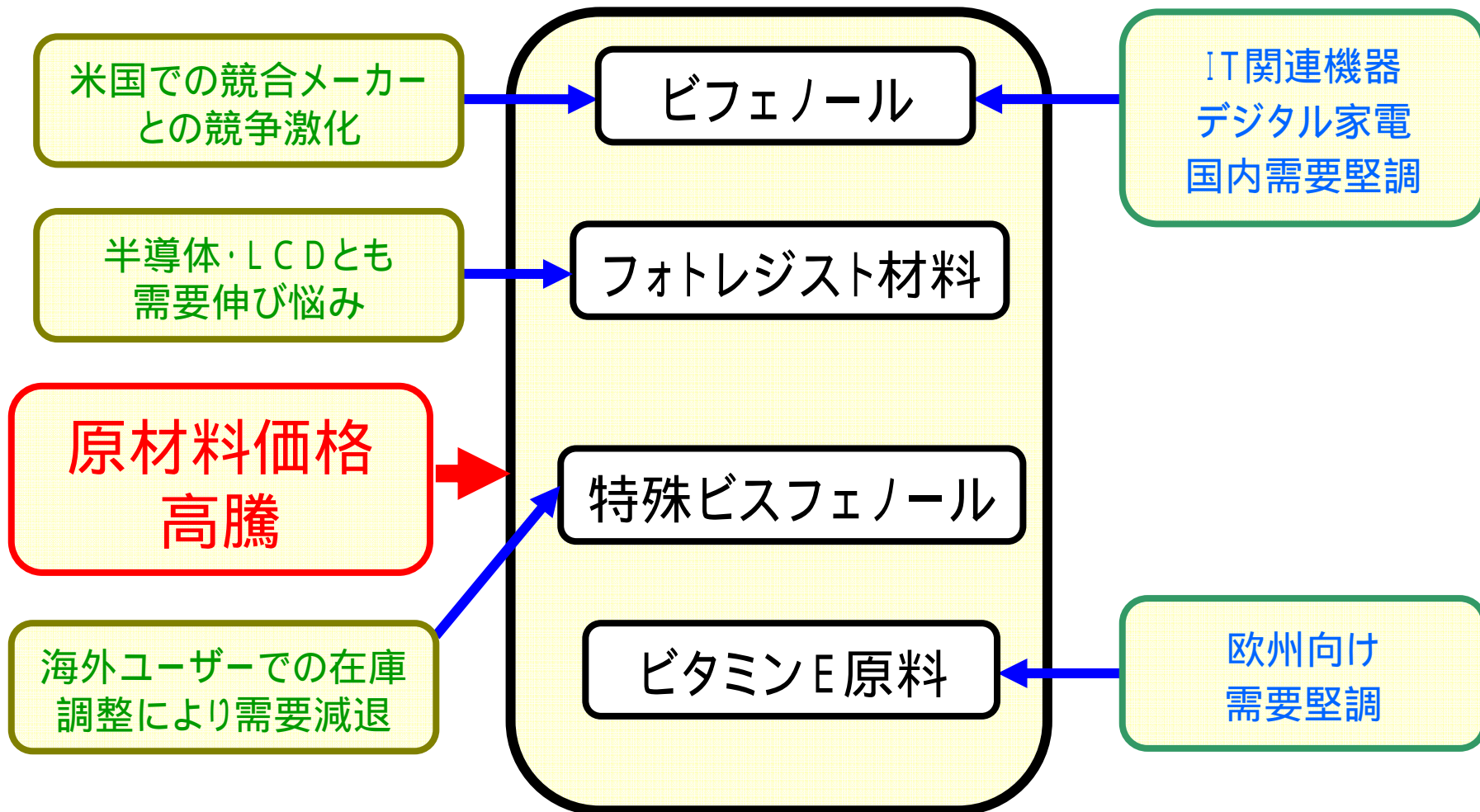
- 成長する市場がある
- 独自技術が活用できる
- 世界のマーケットシェア 1位または2位



- ◆ ビフェノール(液晶ポリマー原料)
- ◆ 特殊ビスフェノール(高機能樹脂原料)
- ◆ フォトレジスト材料
- ◆ トリメチルフェノール(ビタミンE原料)

2008年3月期 中間期実績

08 / 3期 中間期の事業環境



08 / 3期中間期 コア製品の販売状況

部門	コア製品	販売状況
高機能樹脂原料	ビフェノール	国内：需要の伸長により販売は概ね堅調に推移 (売上高は前年同期に比べ増加) 輸出：競合他社との競争激化により不振
	特殊ビスフェノール	ユーザー側での在庫調整による需要減退により、バイエル社向け販売が不調
高機能化学品	フォトレジスト材料	半導体・LCDの需要低迷により、販売が伸び悩み
	トリメチルフェノール (ビタミンE原料)	欧州向け：好調を維持 中国向け：環境保全規制強化に対応したユーザーでの生産調整により減販

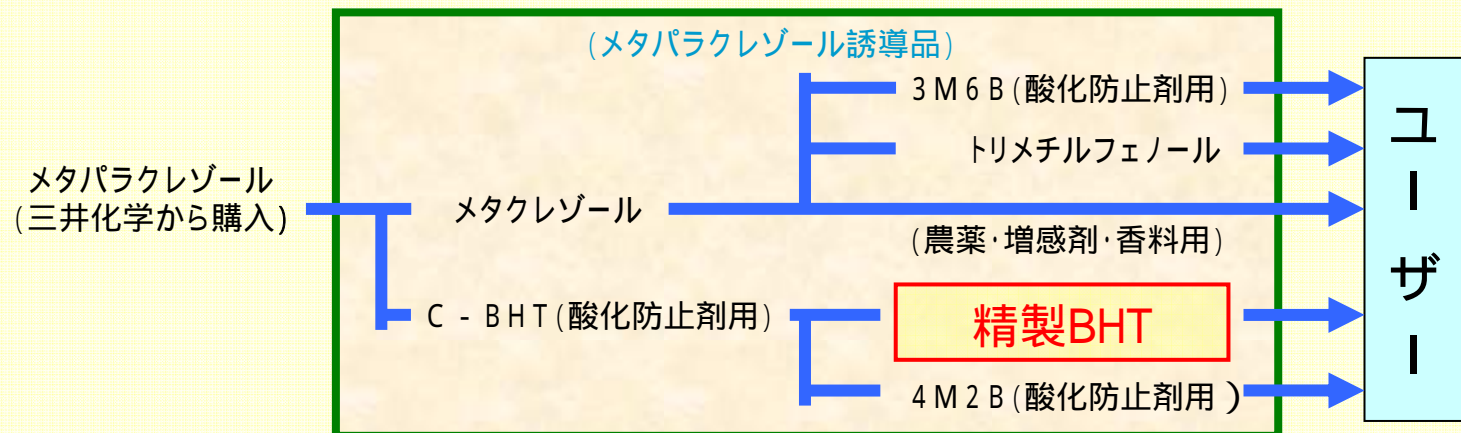
08 / 3期中間期 トピックス

精製BHT事業の譲受け契約を締結

【目的】 クレゾール事業の基盤強化 < 原料C - BHTから精製BHTの一貫生産体制構築 >

【内容】

- 07年 7月 (株)エーピアイコーポレーション(C - BHTユーザー)との間で事業譲受契約締結
- 9月 精製BHT製造設備の新設工事開始
- 08年 12月 同製造設備完成、試運転完了 < 予定 >
- 09年 1月 商業運転開始(事業譲受日) < 予定 >



08 / 3期中間期 トピックス

メタルフリー化設備を増設

【目的】 フォトレジストの高純度化ニーズに対応

【内容】 07年6月 設備完成 < 2系列から3系列体制とし、能力を50%増強 >



特殊ビスフェノール専用の製造設備を和歌山工場に新設

【目的】 バイエル社向けの特殊ビスフェノール(特殊ポリカーボネート樹脂原料用)の
安定的供給体制の確立 < 本州化学・ハイビス社の2拠点による生産 >

【内容】

07年 3月 製造設備完成(07年4月~6月 試運転)

07年 7月 バイエル社に品質評価用製品の供給開始

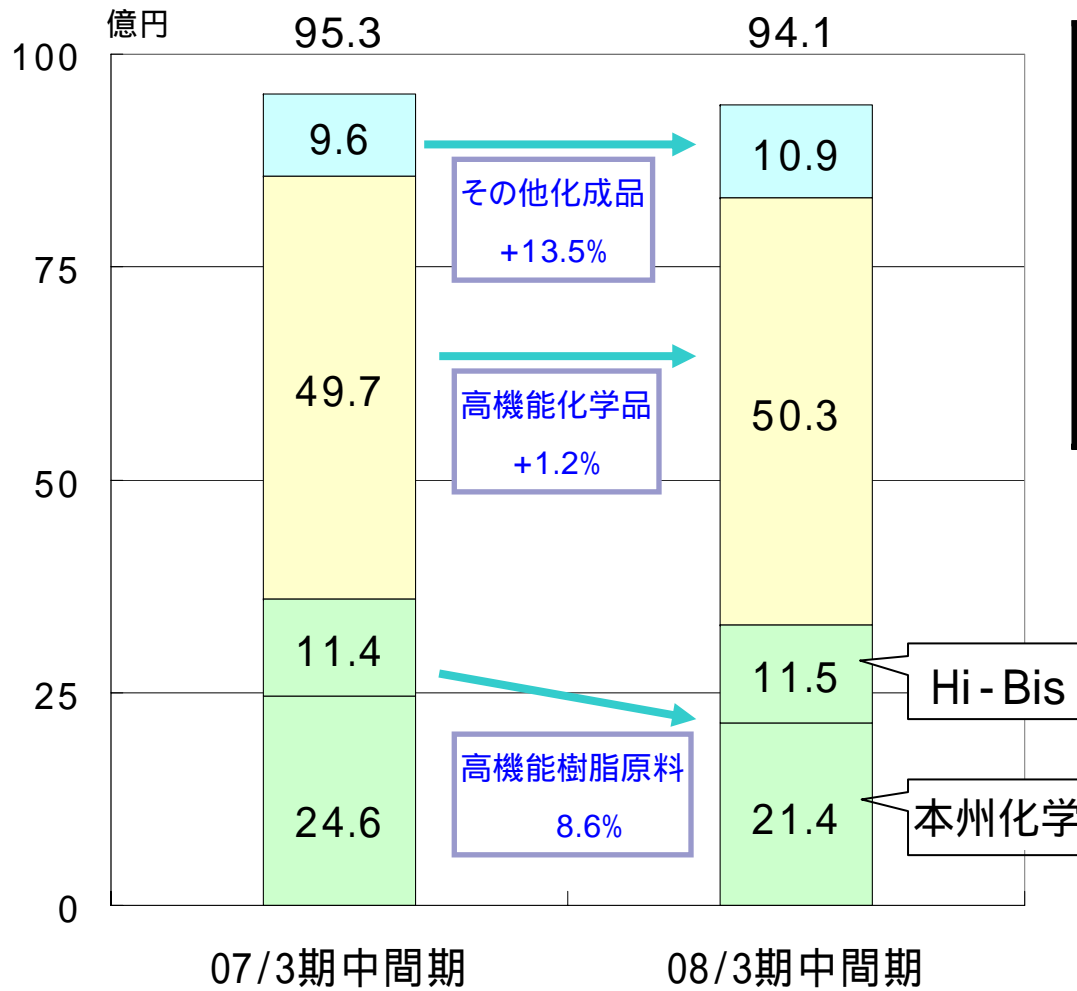


08 / 3期 中間期業績概要 (連結)

【単位:百万円】

	07 / 3期中間期		08 / 3期中間期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前年同期比
売上高	9,534		9,413		1.3%
経常利益	1,039	10.9%	850	9.0%	18.2%
中間純利益	527	5.5%	455	4.8%	13.7%
1株あたり	45.92 円		39.64 円		

売上高(連結)

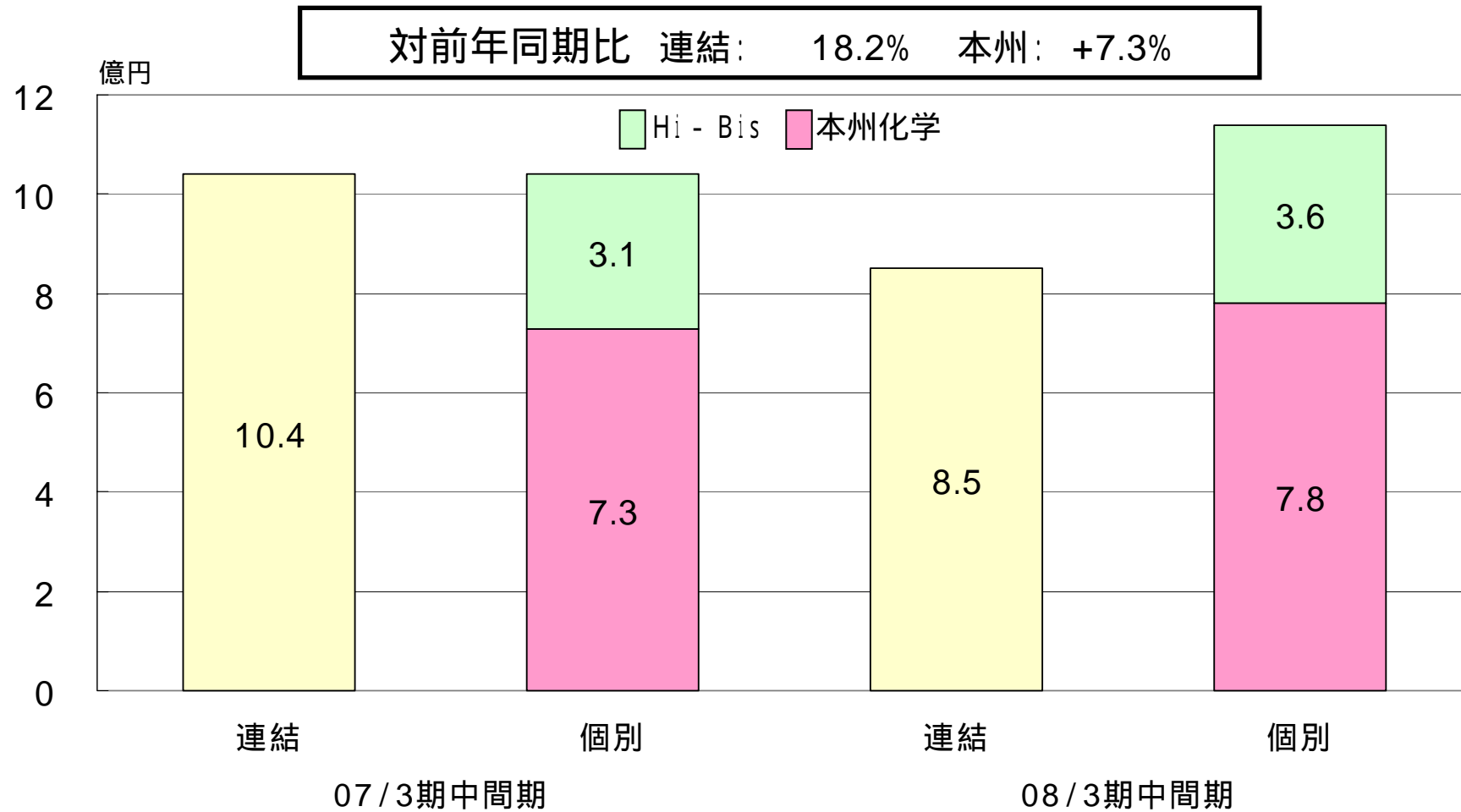


コア製品	
ビフェノール	➡
特殊ビスフェノール	↘
フォトレジスト材料	➡
ビタミンE原料	↗

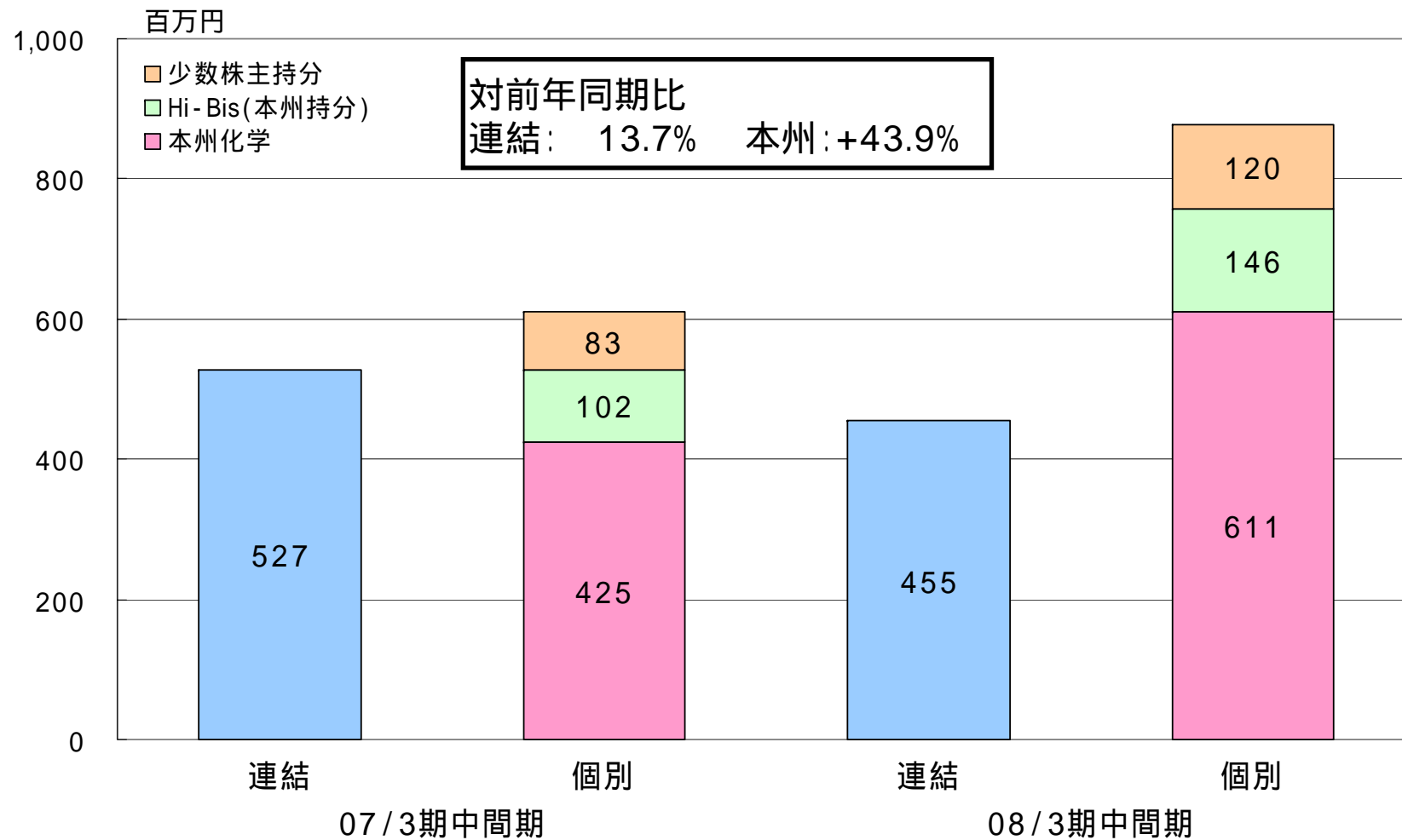
コア製品比率 57% 55%

売上高	
対前年同期比	1.3%
変動要因	
価格差	1.9億円
数量差	3.1億円
合計	1.2億円

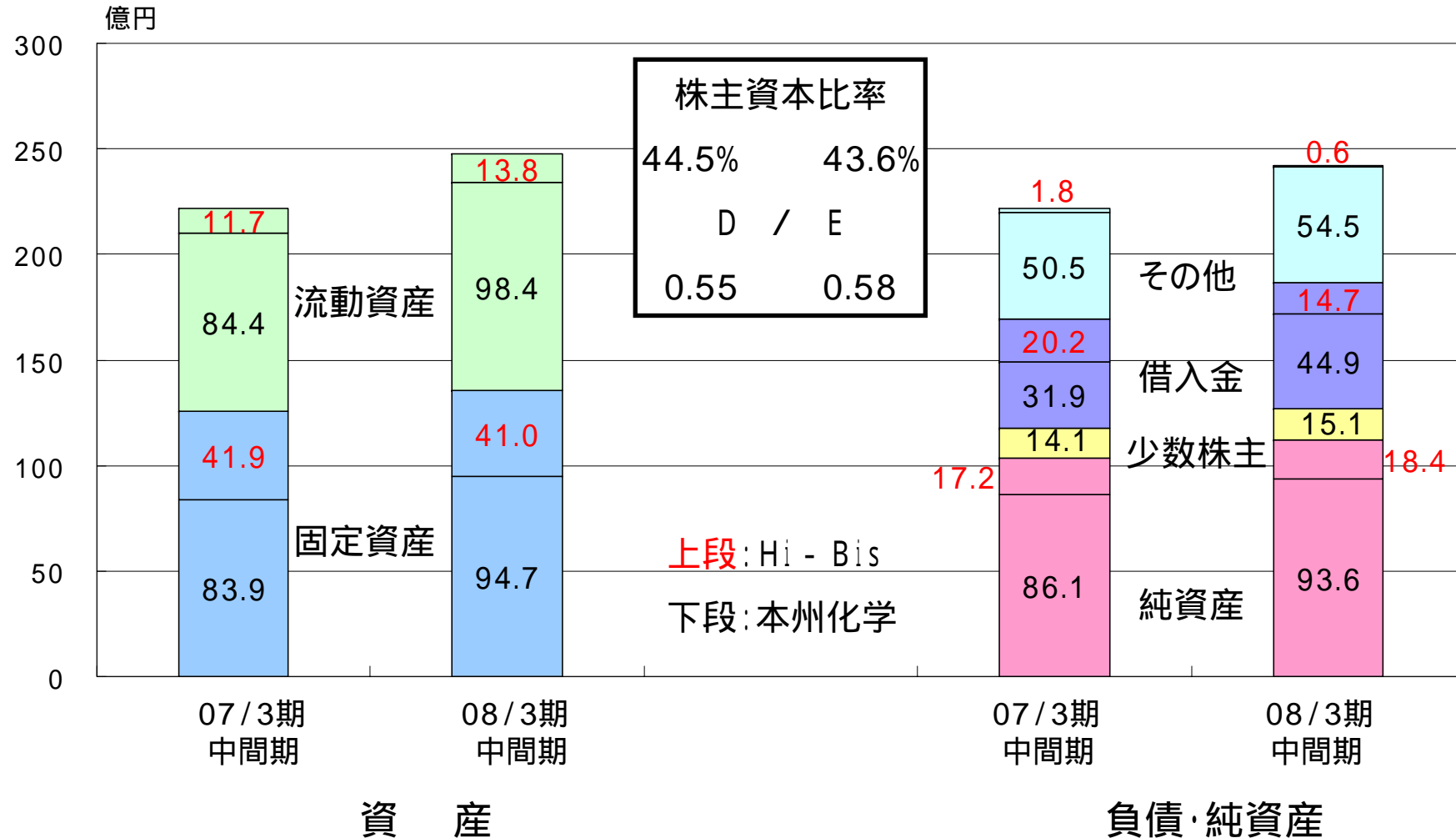
経常利益(連結)



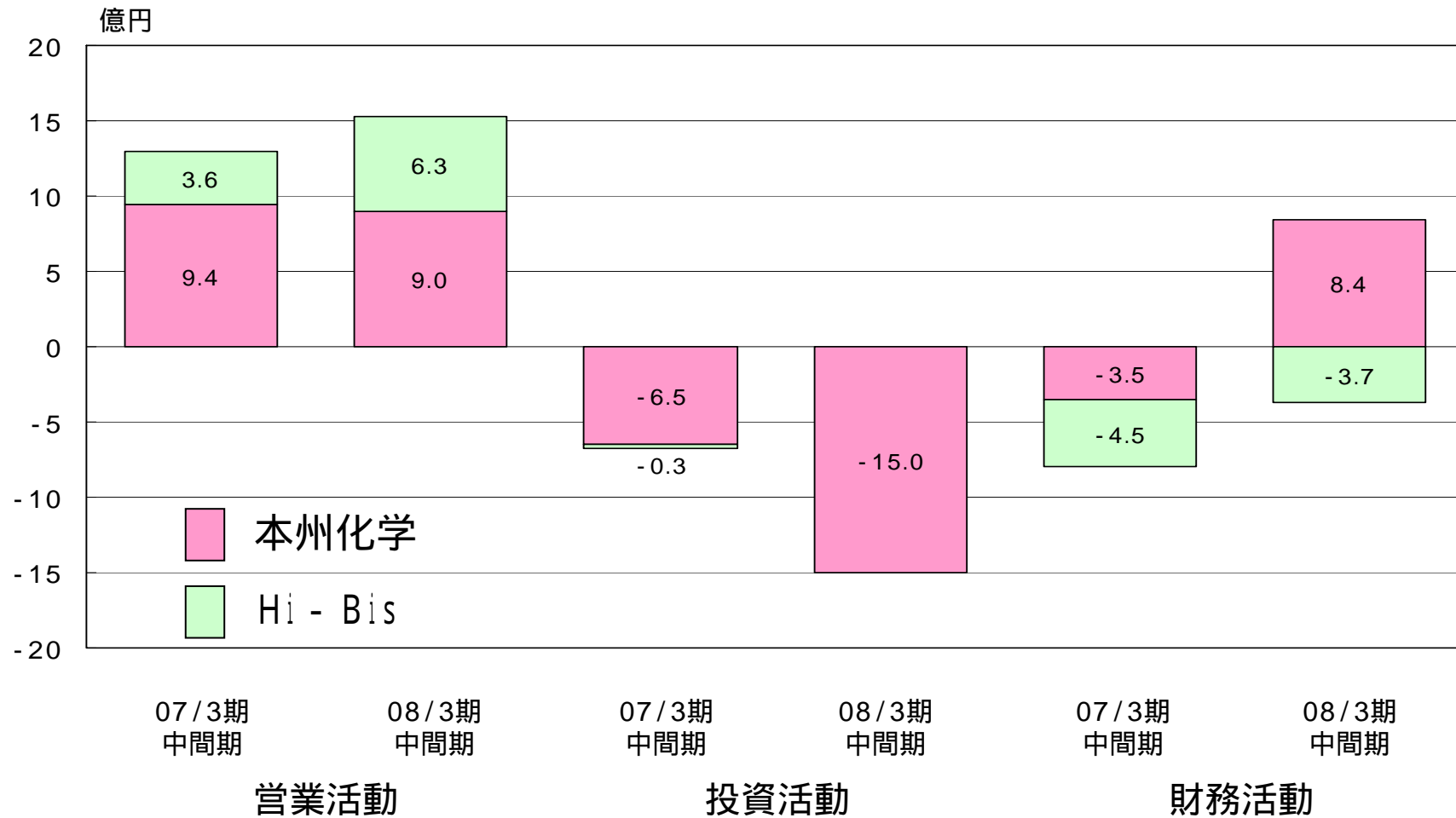
純利益(連結)



貸借対照表(連結)

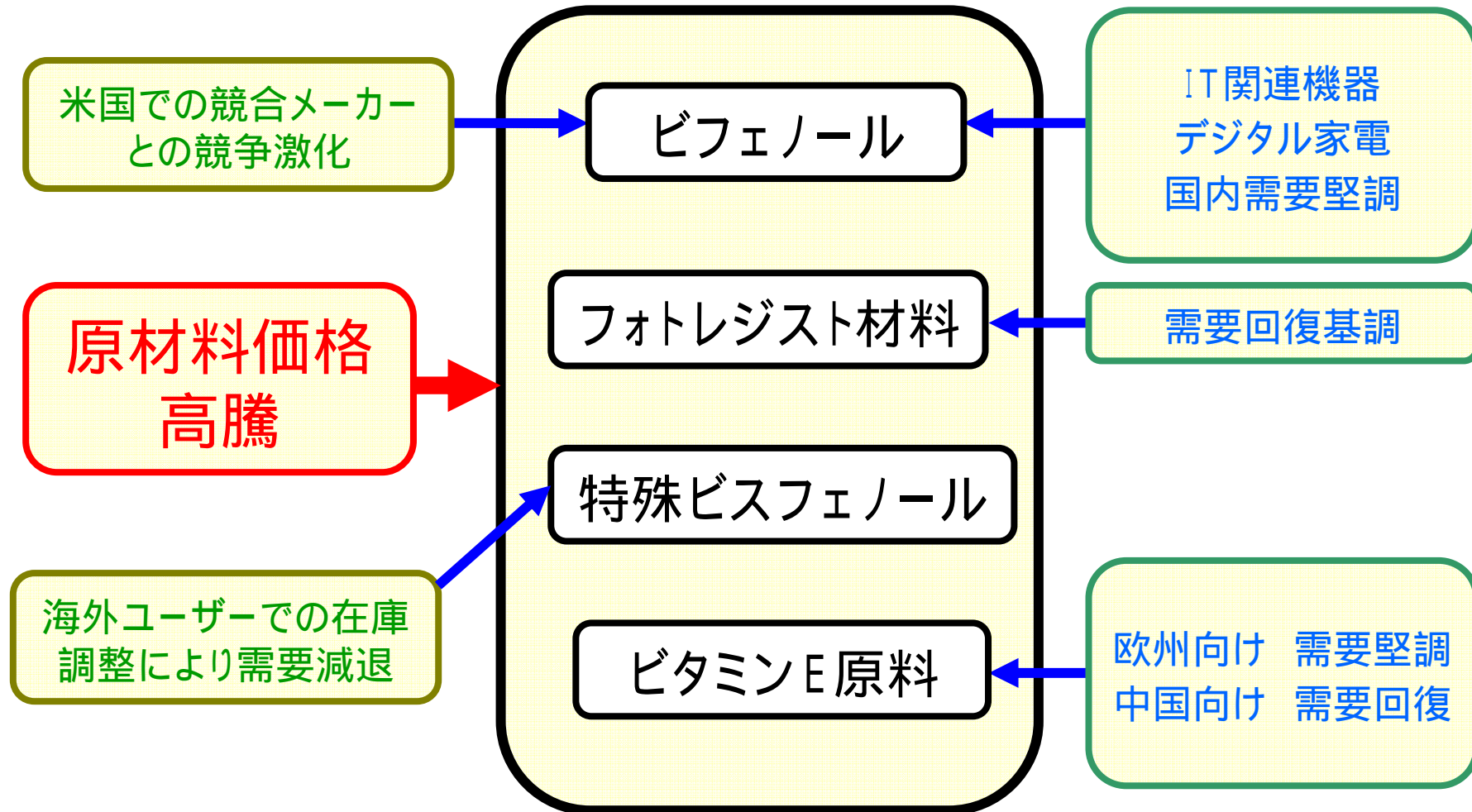


キャッシュフロー - (連結)



2008年3月期
通期見通し

08 / 3期下期の事業環境見通し

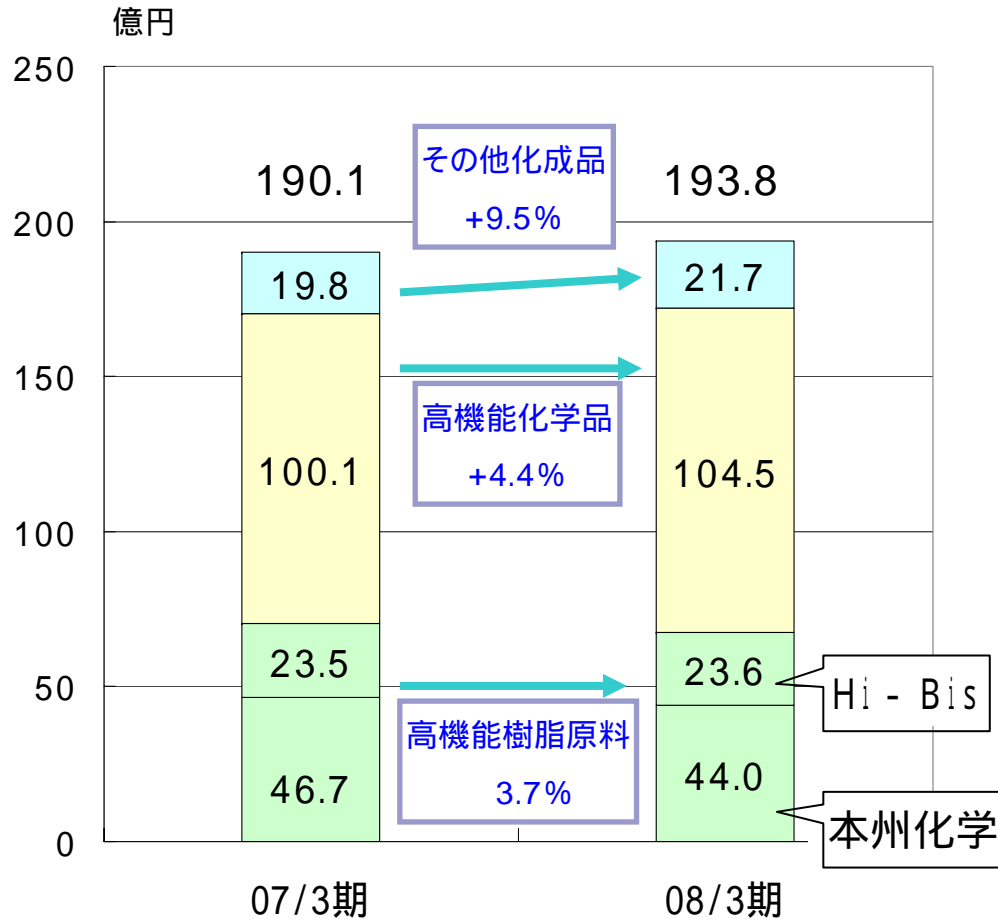


08 / 3月期 通期業績見通し(連結)

【単位:百万円】

	07 / 3期		08 / 3期		
	金額	対売上比	金額	対売上比	対前期比
売上高	19,011		19,380		+1.9%
経常利益	1,943	10.2%	1,420	7.3%	26.9%
純利益	982	5.2%	710	3.7%	27.7%
1株あたり	85.48 円		61.81 円		

売上高(連結)

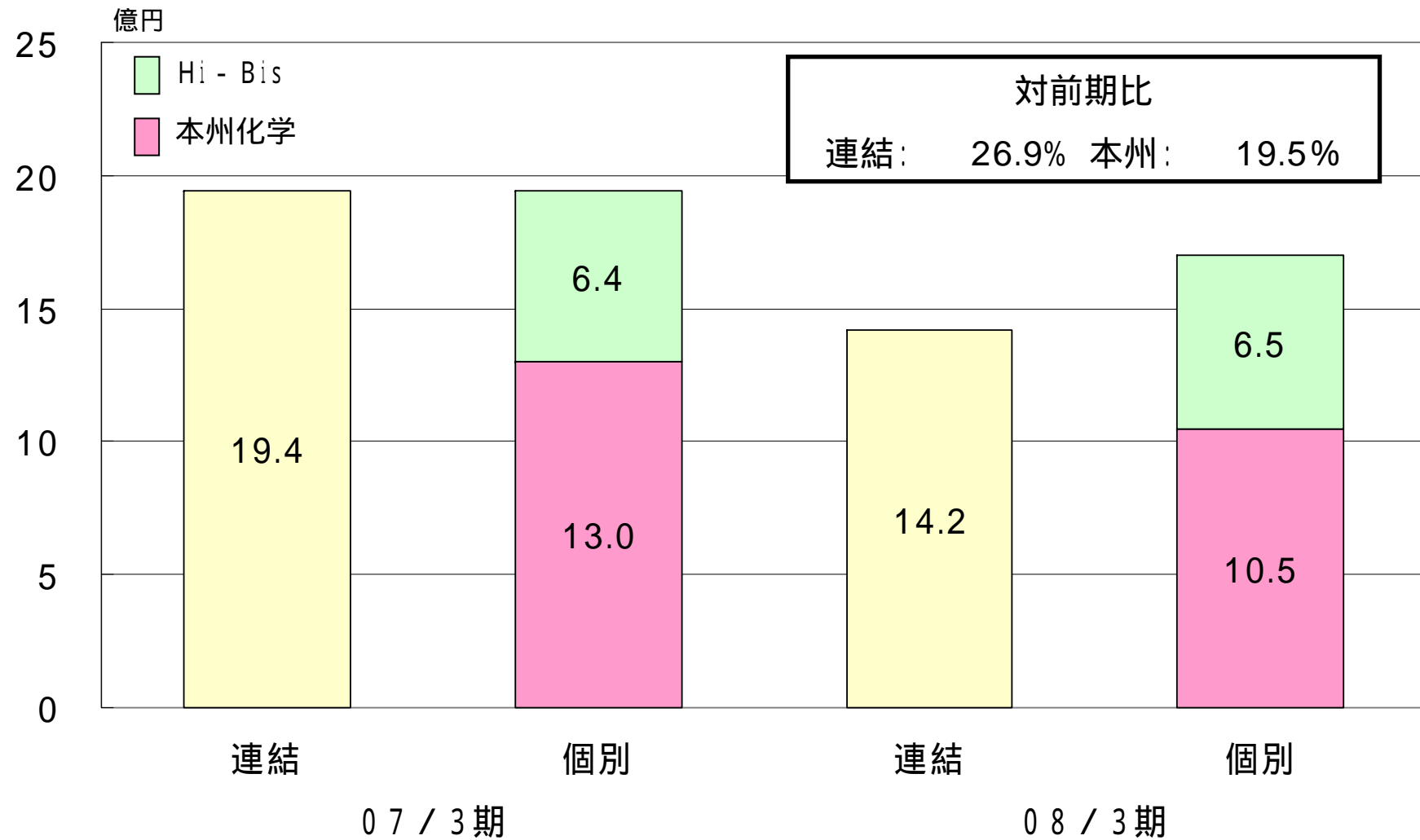


コア製品	
ビフェノール	➡
特殊ビスフェノール	↘
フォトレジスト材料	➡
ビタミンE原料	↗

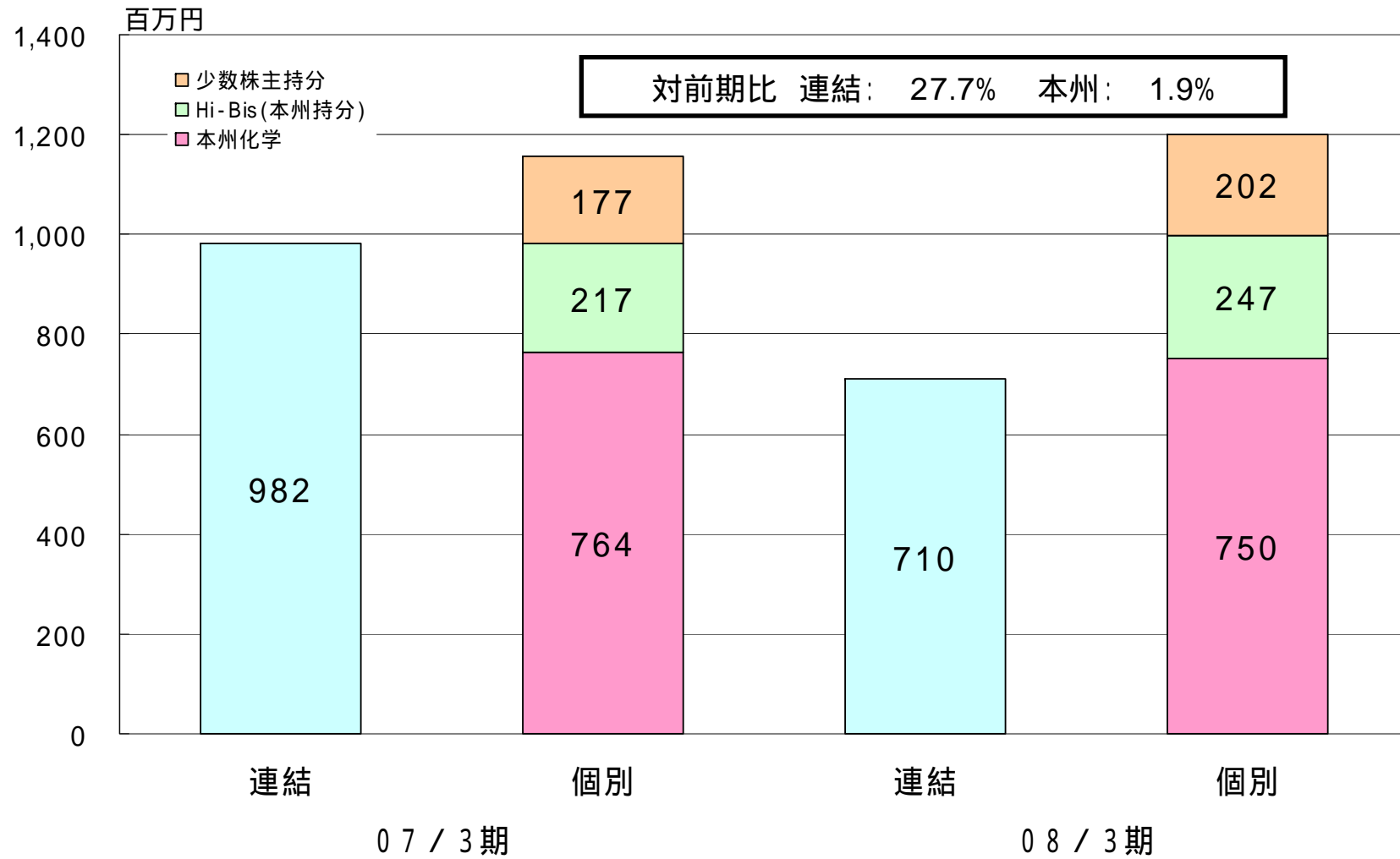
コア製品比率 57% 57%

売上高	
対前期比	+1.9%
変動要因	
価格差	6.1億円
数量差	2.4億円
合計	3.7億円

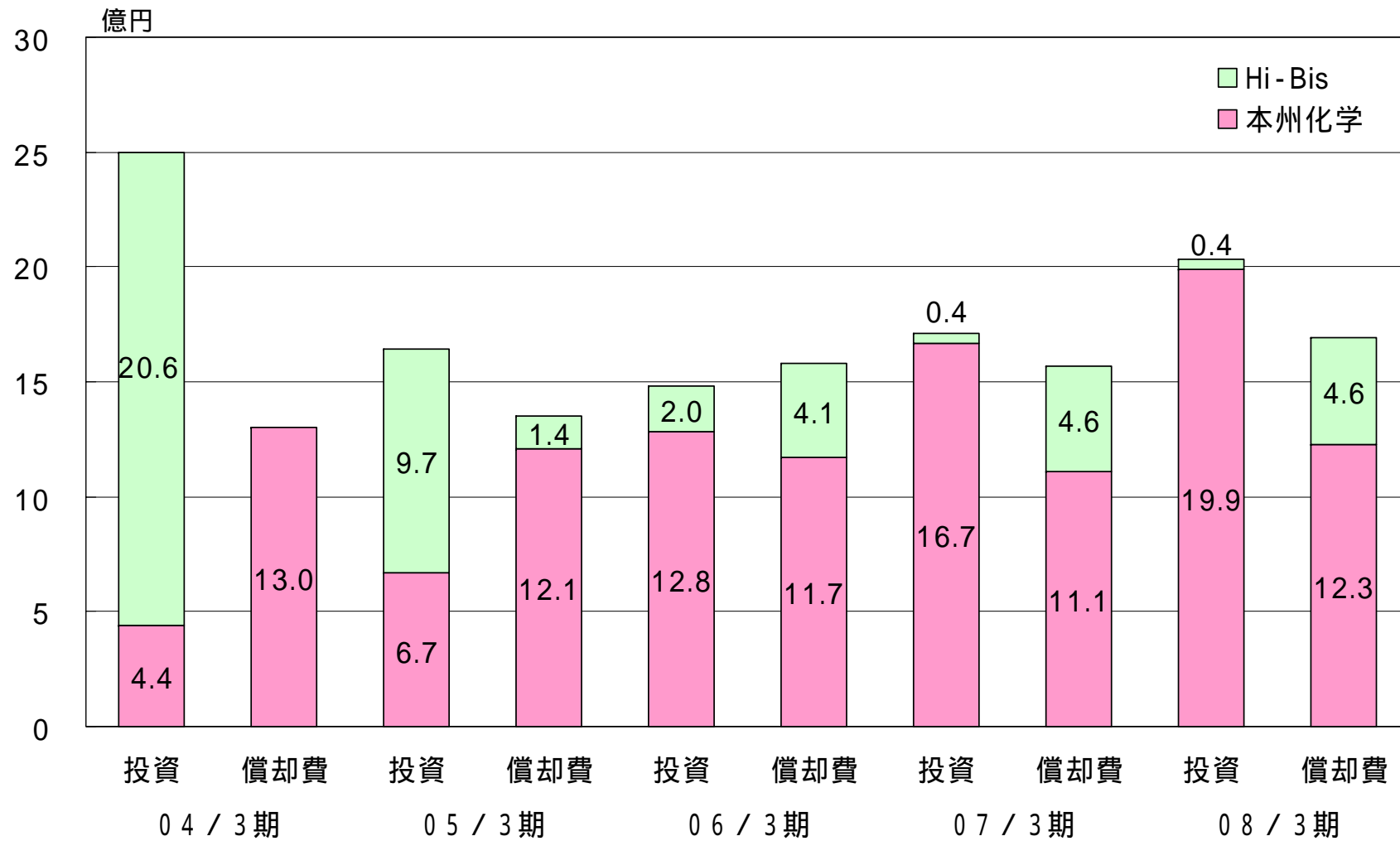
経常利益(連結)



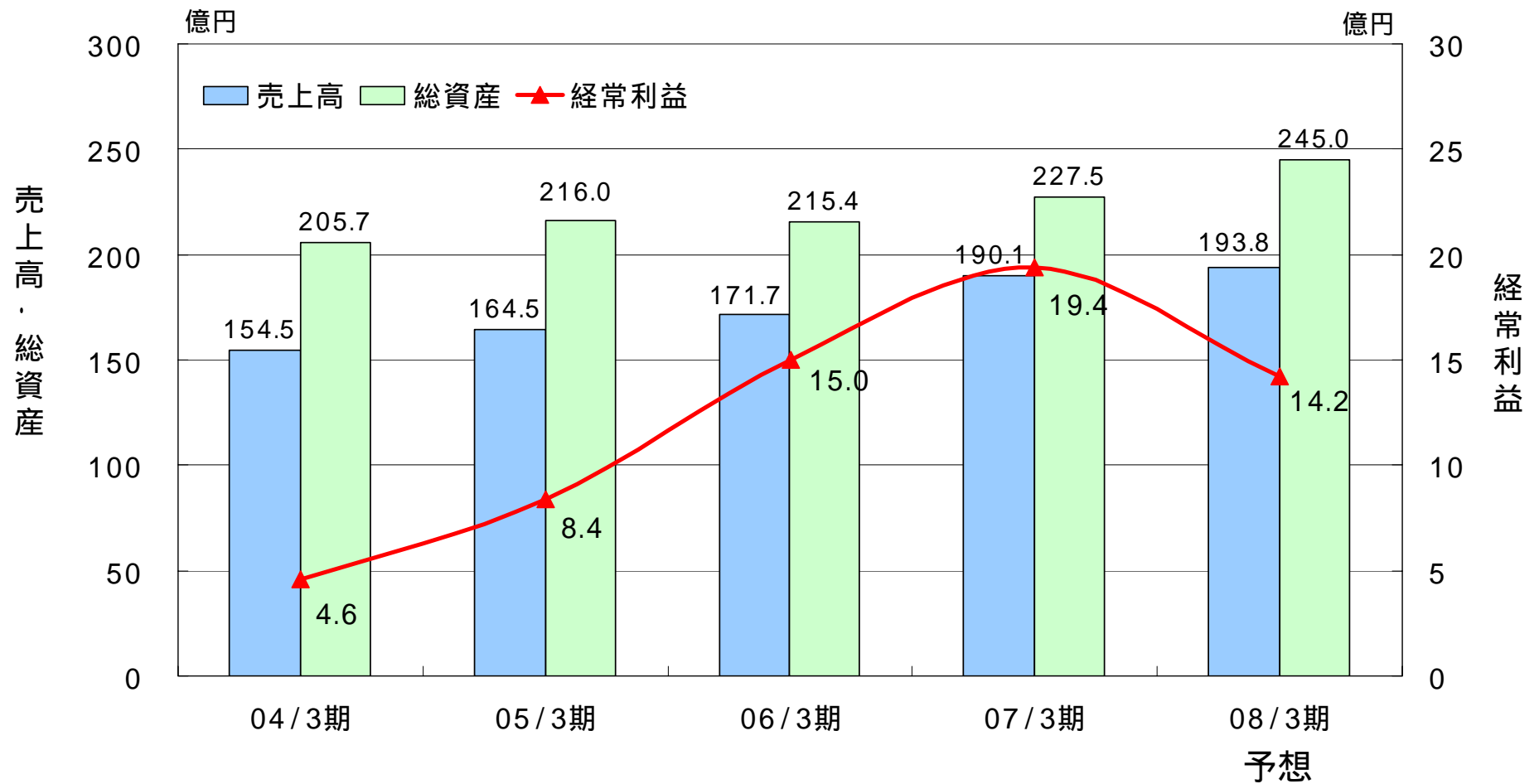
純利益(連結)



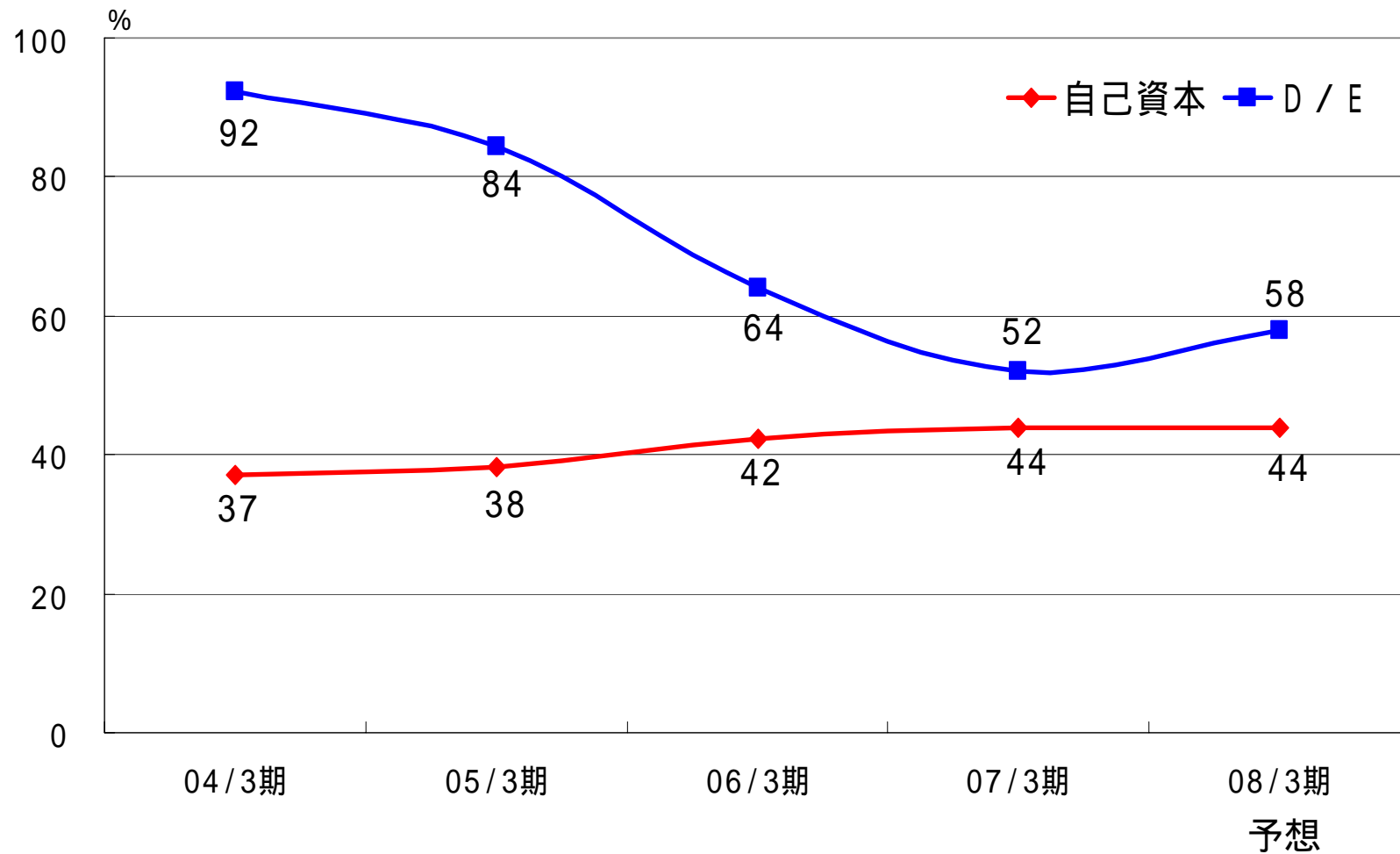
投資(連結)



経営指標 売上高・総資産・経常利益(連結)



経営指標 自己資本比率・D / E (連結)



今後の課題

当面の課題

収益改善策の実施

原材料価格の上昇に伴う販売価格の改定
経営全般にわたるコストダウンの強化徹底

コア事業の強化・拡大

特殊ビスフェノールのポリカーボネート樹脂用途以外での拡販(新規顧客の獲得) その他

新規事業・製品等の育成促進

次期コア製品候補の感光性ポリイミド材料や特殊エポキシ材料(ビスフェノールF)の拡販
次世代フォトレジスト(EUV)に対応した材料の開発加速

中期的課題

現在策定中の「**2008年度中期経営計画**」の達成

今後の持続的成長と更なる発展に向けて、2008年度を初年度とする2011年までの
4か年中期計画を策定(08年1月完成予定)

新規事業等の育成

感光性ポリイミド材料

感光性ポリイミドの用途

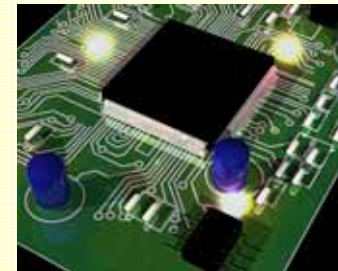
<用途> 半導体素子の表面保護膜



特殊エポキシ材料(Bisphenol - F)

Bisphenol - Fを用いた特殊エポキシの用途

<用途> ノンハロゲンタイプの難燃性積層板
薄型テレビ、High - End携帯電話
粉体塗料
大口径の耐震性水道鉄管内面コーティング



<ビスフェノールF製造設備を増強>

【目的】 需要増大に対応した安定的生産体制の確立

【内容】 08年2月 増強工事完工 <生産能力倍増 2,000t/年 4,000t/年>